

what's VAN LIFE?

「VAN LIFE」って何だ!?

クルマのなかに薪ストーブが?

いま、海外ではこれまでのキャンピングカーのカスタマイズとまったく違う、

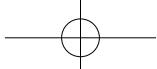
VANLIFEというムーブメントが巻き起こっている。

果たしてVAN LIFEとは何なのか? 日本にもやってくるのか?

突如として誕生したクルマ業界の新しい潮流についてレポートします。



クルマ遊びの
新キーワード



ヒッピーやサーフカルチャーから派生した流れでもあるため、インテリアはあくまでオーガニック。ログハウス風の内装は狭くても居心地がいい。

VANLIFE's POINT ①

インテリアのテーマは
フォーキー&ウッディー

インスタ發で
世界の遊び人が注目！

3・11以降、D-YOで小さな家を建てる「タイニーハウス」や電気や下水道に縛られない暮らしを模索する「オフグリッド」、極力モノを所有しないようにする「ミニマリスト」など、これまで日本には存在しなかつた多様なライフスタイルを模索する

人たちが増えた。衣・食・住・遊のすべてのジャンルにおいて、オルタナティブな方法を実践する人が次々と誕生しつつあるのだ。

いま海外で芽吹きつつある新しいクルマのムーブメントがVAN LIFEだ。もともとラルフ・ローレンでデザイナーとして働いていたフォスター・ハンティントンが立ち

SNSを通じて火がついたこのムーブメント。ぼろぼろのキャンパーべンを自分の手でウッディにカスタマイズし必要最小限の荷物だけ積んで暮らすという、まさに「タイニーハウス」であり「オフグリッド」で「ミニマリスト」なライフスタイルだ。

キャンピングカーを新車で買えば軽く1000万を超えるけれど、中古のワゴンを手にいれて自分たちで内装をやればその10分の1程度の費



James Barkman



VANLIFE's POINT ② 基本はDIY！

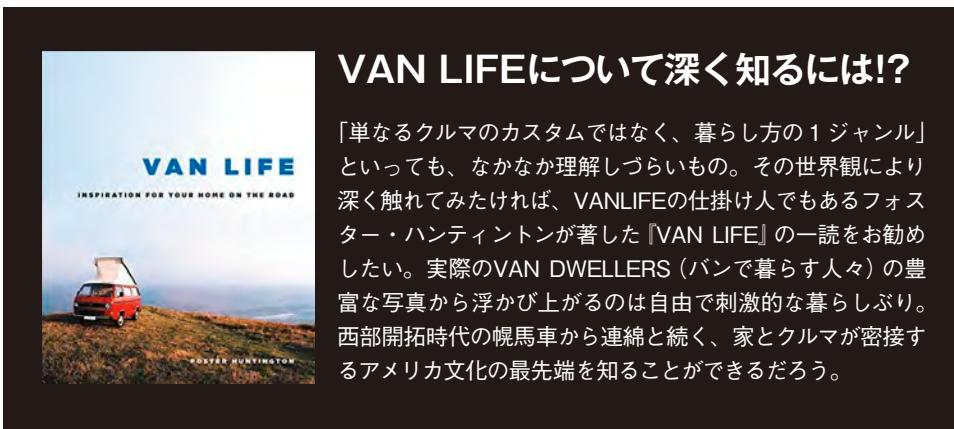
VANLIFEとは、自分の手で工夫を凝らし手間を掛けて居場所を作る行為だ。クルマのメンテも極力自分たちの手でおこない、内装も中古の家具を加工したりホームセンターで手に入る板材を使って作り上げていく。

用で済む。クルマを居心地の良い小さな家に作り変え、気の向くまま気候の良いところに移動しながら暮らす。家ではないから不動産税もかからないし、土地に縛られないで済む。つまり、VAN LIFEは単なるキャンピングカーカスタムの1ジャンルではない。クルマというよりも、むしろ住と遊のオルタナ化というほうが近いだろう。

VANLIFE's POINT ❸

日本でもできる!?

日本では架装メーカーのRIWがいち早くウッディな古材の内装を取り入れたキャンピングカーを発表し、カーショーでも注目を集めていた。



VAN LIFEについて深く知るには!?

「単なるクルマのカスタムではなく、暮らし方の1ジャンル」といっても、なかなか理解しづらいもの。その世界観により深く触れてみなければ、VANLIFEの仕掛け人でもあるフォスター・ハンティントンが著した『VAN LIFE』の一読をお勧めしたい。実際のVAN DWELLERS（バンで暮らす人々）の豊富な写真から浮かび上るのは自由で刺激的な暮らしぶり。西部開拓時代の幌馬車から連綿と続く、家とクルマが密接するアメリカ文化の最先端を知ることができるだろう。



New Wave Car Life

街で見かけても
お洒落なカラー



マンションは中古で買うのに、
クルマの中古を嫌がるのはなぜ?
クルマだって自分好みにリノベすれば、
ひょっとしたら今のクルマよりも愛着が沸いて
カッコいい一台が手に入るんです。

クルマを リノベーションして乗る。

ただの中古車とはワケが違う

renovation.



古いクルマでも
安心して
遠出したい!!



中古車を買う時に頭を悩ませるのが「もし壊れたらどうしよう」「自分の好きなデザインに仕上げたいけど、センス良く仕上げる自信がない」「ペイントやカスタムはお金がかかりそう」という不安。実際のところ、中古のクルマを手に入れて、カスタムしながら維持し続けるのは、クルマ好きじゃないとハードルが高く感じてしまうもの。

そこでクルマ選びのハードルを下げつつ、より楽しい選択肢を提案すべく立ち上がったのが「Renovation」だ。ハイエースとランドクルーザーというトヨタが誇るヘビーデューティーカーをベースに、ジャケツ

新しいクルマ遊び。

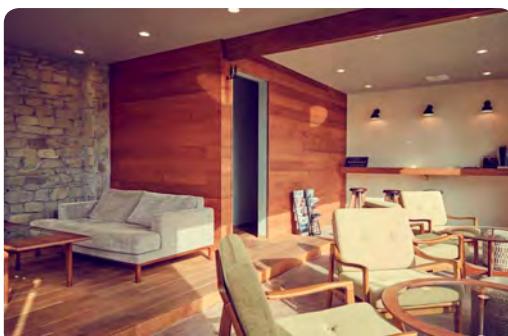
The screenshot shows a simulation interface for a Toyota Hiace van. On the left, there's a vertical menu with five options: 'Car Select' (車種選択), 'Exterior' (エクステリア), 'Interior' (インテリア), 'Option' (オプション), and 'Your Select' (あなたの選んだ装備). Below this is a contact form with fields for 'カタログ請求' (Catalog Request) and 'お問い合わせ先' (Contact Information) with the number '0066-9681-7056'. To the right is a large image of a silver Toyota Hiace van with a 'Renoca' logo on the front bumper. Below the van are several customization options with small preview images: 'カラーパターン Color pattern' (Single color, Light gray, Line sticker A-1), 'カラー Color' (Light gray, A-1), 'サイドミラー Side mirrors' (Side mirrors), 'ホイール Wheel' (Wheel). At the bottom are buttons for 'My ガレージ保存' (Save to Garage) and '共有する' (Share).

Renocaの公式HP上では、それぞれ4種類の車種のなかから外装、インテリア、オプションの仕様をチョイスしてシミュレーションできるサービスを実施。実際の見積もりまでおこなってくれるため、実際に手に入れるまでのイメージをしやすいだろう。

部屋をリノベするように クルマをカスタマイズ

段階からチェックしていくエースで距離無制限の2年、ランクルで同じく距離無制限の1年保証と、メカトラブルへの対策もばっちり

トをパターンオーダーするように塗装やホイール、内装の仕上げ等を細部にわたってオーダーでき、カーショーに出展するコンプリートカスタム車と同じぐらいまで仕上げられた一台を手に入れることができます。もちろんベース車両の状態も専門店が仕入れているため、ハ



一緒に出かけする回数が増えたね

17





ランクルベースの『フェニックス』『カラーボム』(共に299万8000円)『アメリカンクラシック』(309万8000円)、ハイエースベースの『コストライズ』(359万8000円～)の4車種を用意。パターンオーダーの他、完成車両の販売も行なう。



り。新車と同じく安心して乗ることができ、今のクルマにはない味わいも楽しめる。それは「Renoca」でリノベーションを施したクルマだけに許された贅沢なのだ。この文字はダミーで□この文字はダミーで□この文字はダミーで□この文字はダミーで□この文字はダミーで□この文字はダミーで◆

ラッピングで手軽に イメージチェンジ！

最近注目を浴びているクルマのカスタマイズのひとつが、ラッピングだ。フィルム状のシートでクルマを覆うことで車体の色を変えるサービスだが、技術革新のおかげで個人でも実施できるレベルまで価格が落ちついてきたのだ。従来の塗装と一番違うのは、シートを剥がせば元のクルマの色に戻ること。またクルマ全体をシートで覆うため、飛び石による傷や紫外線による劣化からクルマを守ることができ、手放す際のリセールバリューも良好なことがメリットとして挙げられる。



純正状態のメタリックグレーからマットブルーにラッピングしたアウディ。複雑な曲線を描くボディをぴったりと継ぎ目なくラッピングシートが覆っている。新車の納車時におこなうことで車体の保護にもつながるという。



After

もともと看板の製作の一環としてカーラッピングを行ってきたイールアップでは、個人向けラッピングサービスも実施している。全115色のなかから選ぶことができ、小型車で40万円～（問）イールアップ☎047-437-3881 www.eelup.co.jp